

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	年2回日中と夜間想定で火災の避難訓練と設備操作訓練も同時に行っているが、それ以外の地震などの自然災害に関する予備知識や非常時の対応がやや希薄の為事業継続計画の作成や備品・備蓄の準備一覧表等作成し非常時に備えていく必要性あり。	備品・備蓄一覧表を作成し、きちんと補充が行え備えが万全かの確認作業が定期的に行えるシステムを作っていく。また、地震体験や非常時の対応等事業継続計画書の見直しを行いながら実践に即した研修を取り入れていく。	①備品・備蓄一覧表の作成及び担当者を決めると共に流れの確認を行い、漏れることがないようにする。②入居者様と共に地震体験や停電体験を研修に盛り込む。	6ヶ月
2	5	コロナ対策としてホーム内のユニット間の移動自粛や紙皿や紙コップなどの使用のアドバイスを市や保健所等アドバイスをいただいたが、施設内でアドバイスがなくても初期対応がすぐにできる環境整備が必要	感染症対策委員会を設置し、常に見直しや啓発活動を行い、再発防止に努めていく。	①感染症対策委員会の設置 ②毎月啓発活動及び発生してしまった際のシュミレーションを兼ねて勉強会または研修を行っていく。	6ヶ月
3	52	ソファを置きゆっくりとくつろげるスペースをとったり、壁面には入居者様の作品を飾り、明るい雰囲気を作っているが1階は入居者様がまだ入所されて慣れていないこともあり、カーテンを閉めてしまっていることがある。また、入居者様自身カーテンを閉めたがる傾向にあり、採光の工夫が必要	カーテンが開いていても危険がないような環境整備を行うと共に、入居者様の精神面の把握を行いながら、明るいことで安心できる環境を常に行っていく。	窓の気になる部分だけでもスクリーンを貼り、明かりが取れる環境を作っていく。また入居者様にも日中はカーテンが開いていることに慣れていただけるように言葉かけの工夫を行っていく。	1ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月